

「読む力」から「読み解く力」へ

～ハキハキ・スラスラ・正しく読もう～

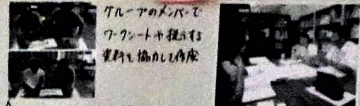
根拠

昨年度までは算教科を窓口として対話を繰り返しながら課題の解決に向けた授業作りに取り組んできた。しかし、問題文や教材文に書かれている言葉が読めない、読み取れない児童が多い。

1学期は校内研主題にもついで、朝学習での漢字指導や全校での暗唱の取り組みなど、共通の実践も行った。一方で、日々の国語科の授業作りについては各学級担任に任せ、学期末にはそれぞれの取り組み状況を交流した。(個)
夏休み中に全員で同じ研修(赤松研修)を受け本校が目指す国語科の授業の方向性を共通理解し、2学期以降の授業作りの指針とした。

2年2組 指導案検討メンバー
7月に決定した7人+学級主任(2名)
管理職
担任5名+学級主任
研修費 1000円

単元の目標や評価基準を設定する時は、児童とどんな力をつけたいのか、そのためにはどのような支援が必要か、学力中〜下位の子どもには考え



7人+のメンバーで7人+の先生が授業の準備を協議して座席

自分たちが読めない、実際に対話すること、こんな言葉も引出したいのか、どこで読めれば具体的なイメージが
並行読書モデルを例に深く話し合い、教材研究が深まった。

マトリックス表やモデル動画、質問集(赤松)などの提示資料の準備も十分に行うことができた。
何となく...かかわらず、対話に参加できない子は、ほっといてあげた。
資料のツイヤ表示、使うタイミングなどについては改善の余地がある。

先生の学び



魅力的な題材や教材で、子どもの意欲を引き出したい。それぞれの子どもに合った読み課題を設定したい。
授業の中で山場を作ることも大切。主発問に重きを配りたい。児童を引っ張る導入の工夫

学校教育目標
ふるさと愛し、心豊かにたくましく生きる子

目指す児童生徒の姿
教科書などの書かしている文章をスラスラと読める。
文章の意味が理解できる。

本校の現状と課題
既習内容を他の單元や教科で活用する力の
授業力や読解力
読解力向上に取り組む姿勢

教員が自身の学びや成長を実感できるような校内研究に力を入れる。

5月2日 プロジェクト研究会①

5月22日 プロジェクト研究会②
パワーアップ研修①

5月17日 3年4組
5月18日 職員研修
今年度の研究の目標作り
目標を何人か決める

7月4日 3年4組
5月28日 打ち合わせ
授業力アップのための
資料作り
日間的な授業の見直し
自由参観週間の授業

5月31日 特別支援
7月7日 2年2組
初任研授業(道徳)
参観は自由
7月7日 2年2組
初任研授業(道徳)
参観は自由

7月27日 校内研究会
250名+研修生+2
2学期の授業力向上
4人+のグループ
4人+のグループ
4人+のグループ
4人+のグループ

7月7日 プロジェクト研究会③

8月3日 プロジェクト研究会④
パワーアップ研修②

8月22日 プロジェクト研究会⑤

9月4日～15日
9月21日 6年2組
国語科授業(赤松)
市の訪問
夏休みの研修と教材の
実践する

9月の授業研と教材
ことを活用して自分の
授業に取り入れてほしい。

10月23日 2年2組
国語科授業(赤松)
対話と復習の
学習
指導、先生と適切な

互いの授業を参観する
習慣作りが大切(個)

多くの先生たちに
入ってもらった
参観して強み+
定期的なふりか
時間をとる
先生の学びが共有

互いの授業を参観する
習慣作りが大切(個)

多くの先生たちに
入ってもらった
参観して強み+
定期的なふりか
時間をとる
先生の学びが共有

互いの授業を参観する
習慣作りが大切(個)

多くの先生たちに
入ってもらった
参観して強み+
定期的なふりか
時間をとる
先生の学びが共有

互いの授業を参観する
習慣作りが大切(個)

多くの先生たちに
入ってもらった
参観して強み+
定期的なふりか
時間をとる
先生の学びが共有

互いの授業を参観する
習慣作りが大切(個)

多くの先生たちに
入ってもらった
参観して強み+
定期的なふりか
時間をとる
先生の学びが共有

互いの授業を参観する
習慣作りが大切(個)

多くの先生たちに
入ってもらった
参観して強み+
定期的なふりか
時間をとる
先生の学びが共有